

小池知事に厳しく抗議

関東大震災

朝鮮人犠牲者

追悼式典に

追悼文送付を。

申し入れ本文は
下記QRに掲載



超党派で申し入れ

日本共産党都議団、グリーンな東京、都議会生活者ネットワークは8月29日、小池百合子都知事に対して「小池百合子知事が8年連続、関東大震災朝鮮人犠牲者追悼式典への追悼文を送付しないことに厳しく抗議し、送付再開を求める要請」を行いました。



都議会議員
(新宿区)

大山とも子

おおやま ともこ



日本共産党都議団報告

2024年9月 ご意見・ご要望をお寄せください
電話 03(5320)7270 FAX 03(5388)1790 新宿区西新宿 2-8-1



小池知事!

JCP TOKYO
Metropolitan Assembly Members

共産党都議団

8年連続で 追悼文送らず

史実を黙殺し、都自身が積み重ねた 反省を投げ捨てる恥ずべき行為

1923年の関東大震災の発生時、"朝鮮人が暴動を起こす"などの流言飛語が発生し、軍隊や警察、自警団などによる虐殺が行われ、数千人もの朝鮮人や中国人など多くの命が無残に奪われました。

都は朝鮮人虐殺事件を「東京の歴史の拭うことのできない汚点」（『東京百

年史』1972年東京都発行）とし、市民や都議会各会派の幹事長も参加して横網町公園に追悼碑を建立。歴代知事は追悼文を送付してきました。追悼文送付中止は、半世紀近く重ねられた東京都自身や都議会の、悲劇を「二度とくり返さない」という誓い、歴史を継承する決意を投げ捨てるものです。

民族差別・ヘイト行為を増長させる 小池知事の責任は重大

他民族へのヘイト行為が重大問題となる中、こうした史実に向き合う真摯な姿勢と歴史教訓の継承は重要です。ところが、小池知事による追悼文送付中止以来、史実をゆがめ他民族を冒涇する団体が、追悼式典と同時刻に隣接した場所でヘイト集会を開催するようになりました。こうした事態を招いた

小池知事の責任はあまりにも重大です。東京都は他民族への冒涇、ヘイト行為を許さないという毅然とした態度を示すべきです。

（左2人目から）原純子（共産党）、岩永やす代（生活者ネット）
とや英津子（共産党）漢人あきこ（グリーン）
大山とも子（共産党）、原田あきら（共産党）の各都議

